

## ミャンマーで貧困削減 地方開発関連業務受注

オリコンサルグローバル

貧困削減地方開発事業は、ミャンマー国内の州・地域間の貧困格差を是正するため、包括的にインフラを整備する開発プロジェクトで、同社は15年3月の「フェーズI」に続いてフェーズIIを受託した。国際協力機構（JICA）の円借款プロジェクトで、フェーズIIの事業全体額は239・79億円。



オリエンタルコンサルタントグローバルは6日、ミャンマーで「貧困削減地方開発事業（フェーズII）」のコンサルティング業務を受注したと発表した。ミャンマー各地で小規模な生活基盤インフラ（道路・橋梁、電力、給水の3分野）の新設・改修（合計61件）などを実施する計画で、同社は八千代エンジニアリング、パシフィックコンサルタンツとのJVで業務を受託した。JV全体の業務契約額は約4億4700万円。契約期間は17年3月からの調整期間を含む54カ月。8月29日に首都ネピドーで発注者のミャンマー建設

は約4億4700万円。契約期間は17年3月からの調整期間を含む54カ月。8月29日に首都ネピドーで発注者のミャンマー建設

省のハン・ゾー大臣と関係者が集まり、契約書に調印した（写真）。  
オリエンタルコンサルタントグローバルは設計レ

ビューリング、入札図書作成、施工監理、実施機関の財務管理能力強化、事業評価・モニタリング支援、環境社会配慮の支援といったコンサルティングサービスを担当する。